

2021年7月30日 社長会見要旨

【会見要旨】

本日は「2021年度第1四半期決算」、「泊発電所の新規制基準適合性審査の対応状況」、「カーボンニュートラル実現に向けた取り組み」、「SPACE COTAN 株式会社への出資」、「エネとくポイントプラン新規ご加入キャンペーン」などについてお話しいたします。

【2021年度第1四半期決算】

はじめに、「2021年度第1四半期決算」について、お手元の資料1の決算資料に沿ってご説明いたします。

2ページの上段「経営成績」の表をご覧ください。

売上高につきましては、昨年11月から12月にかけての燃料価格の低下が、この第1四半期の燃料費調整額に反映され収入が減少したことなどにより、前年同期に比べ27億円減少の1,281億円となりました。

経常利益につきましては、水力発電量の増加による燃料費の減少などはありませんでしたが、今、申し上げた燃料費調整額の減少に加え、本年4月以降の燃料価格の上昇に伴う燃料費の増加などにより、前年同期に比べ80億円減少の137億円となりました。

また、四半期純利益につきましては、経常利益の減少などにより、前年同期に比べ89億円減少の、96億円となりました。

続いて2ページ下段「財政状態」の表をご覧ください。自己資本比率は前年度末に比べ、0.2ポイント改善し、14.0%となりました。

資料の6ページから14ページには、連結決算の収支比較表や販売電力量、供給電力量の実績などを、続く15ページには当第1四半期の経常利益の変動要因をまとめておりますので後ほどご覧ください。

以上、2021年度第1四半期決算の概要をご説明いたしました。

次に、2021年度の連結業績予想についてご説明いたします。4ページをご覧ください。

2021年度通期の連結業績につきましては、至近の動向を踏まえ、本年4月28日に公表した業績予想を修正いたしました。

はじめに、表の中ほどに記載しております、2021年度通期の小売販売電力量についてです。

当第1四半期では概ね計画通り推移しており、4月の公表と同程度の224億kWh程度となる見通しです。引き続き、当社をお選びいただけるよう、お客さまニーズを捉えた営業活動を積極的に展開してまいります。

続いて、売上高についてです。本年4月以降の燃料価格の上昇が時期ずれはありますが、燃料費調整額に反映され、収入が増加することなどにより、4月の公表から250億円増加の6,000

億円程度となる見通しです。

経常利益につきましては、燃料価格の上昇影響が燃料費にはすぐに反映され、収支が悪化する見込みですが、水力発電量の増加による燃料費の減少もあるため、4月の公表と同程度の230億円程度となり、利益目標水準は確保できる見通しです。

16ページには2021年度の連結業績予想における経常利益の対前年変動要因をまとめておりますので後ほどご覧ください。

最後に、配当予想についてご説明いたします。5ページをご覧ください。

2021年度の間・期末配当予想については、4月に公表した予想から変更はなく、普通株式については、中間配当・期末配当ともに1株当たり10円、年間で1株当たり20円を予定しております。また、優先株式については、定款の定めに従い、中間配当・期末配当ともに1株当たり150万円、年間で1株当たり300万円を予定しております。

以上、2021年度第1四半期決算についてご説明いたしました。

【泊発電所の新規制基準適合性審査の対応状況】

次に、資料はございませんが、泊発電所の新規制基準適合性審査の対応状況について、お話しいたします。

泊発電所の敷地内断層の活動性評価につきましては、敷地に認められる11条の断層のうち、活動時期などを踏まえ、F-1、F-4、F-11断層を中心とした審査が進められてきました。

当社は、これまで、開削調査をはじめ様々な調査・分析等を行い、「敷地に認められる断層は将来活動する可能性のある断層等ではない」との当社評価について、原子力規制委員会のご理解が得られるよう、審査会合における最優先課題として、取り組んでまいりました。

7月2日の審査会合では、石渡委員から、「F-1、F-4、F-11断層については、約12～13万年前以降の活動性がないことについて、納得できるデータが示されたと考えている」、「敷地の地質・地質構造については、概ね妥当な検討がなされたものと評価する」とのコメントをいただき、適合性審査において、一つのステップを乗り越えたと考えております。

当社は、引き続き、泊発電所の早期再稼働を目指し、その他の審査項目につきましても、気を引き締めて、適切に対応を進めてまいります。

【カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み】

次に、カーボンニュートラルに関する取り組み状況について、お話しいたします。

当社は、2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、再生可能エネルギー発電事業の拡大や、脱炭素化に貢献する泊発電所の最大限の活用に加え、水素・アンモニア燃焼などの新技術の導入などに取り組んでいくこととしております。

本日は、このうち、水素に関する取り組みを2点ご紹介いたします。

お手元の参考資料2ページをご覧ください。1点目は、「国内初の石狩湾新港洋上風力の余剰電力による水素製造および利活用に向けた調査事業」についてです。

当社は、グリーンパワーインベストメントさんほか4社と共同で、8月から本事業を開始す

ることといたしました。

石狩湾新港洋上風力は、出力約 10 万 kW の道内初の本格的な洋上風力発電であり、現在、港湾区域で、2023 年の運転開始に向けて建設工事が進められています。

この事業は、洋上風力の電力による水素製造と、石狩市や札幌市など周辺地域における水素の利活用、さらには、北海道内外への水素輸送に関して、各種課題を抽出し、水素サプライチェーンの構築に向けた調査検討を行うものです。

当社は、洋上風力で発電した電力から製造した水素や、水素から合成したアンモニアを、石狩湾新港発電所や当社の他の火力発電所で活用する場合の技術的・経済的課題の抽出に取り組んでまいります。

続けて、3 ページをご覧ください。2 点目として、「北海道水素事業プラットフォーム」についてご紹介させていただきます。

当社は、北海道に根差した民間企業にお声かけをし、7 月 7 日に、当社を含む道内民間企業 9 社による「北海道水素事業プラットフォーム」を設立いたしました。

4 ページをご覧ください。このプラットフォームは、民間企業が有する知見・技術をオープン・シェアの精神で結集し、北海道における水素社会・カーボンニュートラルの実現を目指した様々なプロジェクトを創出するための連携の場であり、北海道では初めての試みとなります。

今後、水素事業に取り組む意向を持つ道内企業と道外企業を結び付け、相乗効果を促すことで、社会実装に繋がるプロジェクトを数多く創出していきたいと考えております。

このプラットフォームにより、各企業が連携・協力し、取り組みの輪を広げていくことで、北海道における水素サプライチェーン構築を早期に実現し、将来的には、北海道が国産グリーン水素活用のパイオニアになることを目指してまいります。

また、先月、北海道は幅広い関係者が将来の目指す姿を共有し、先進的で具体的な取組を全道に拡大するため、オール北海道で、関係者間の協議・連携を行う場として「ゼロカーボン北海道推進協議会」を設立しました。

当社も構成員の一員として、本協議会を通じて幅広い関係先の皆さまとの連携や協働を進め、協議会が掲げる「ゼロカーボン北海道」の実現に貢献してまいります。

【SPACE COTAN 株式会社への出資】

次に、資料 2 をご覧ください。

当社は、本日、「北海道スペースポート構想」の業務全般を担う SPACE COTAN 株式会社に出資いたしました。

「北海道スペースポート構想」は、道内における宇宙関連産業の集積に向けて、大樹町を中心とした十勝地域の経済界のほか、北海道や北海道経済連合会などが連携して取り組みを進めているものです。

「北海道スペースポート構想」の実現により、北海道における宇宙ビジネスの進展が期待できることに加えて、北海道の経済活性化にも繋がると考えています。

当社は、今回の出資を通じて、SPACE COTAN 株式会社が進める構想の早期実現を支援し

ていくとともに、十勝地域におけるインフラ整備等による「エネルギー需要の創出」や、他企業との協業を通じた「新たな事業領域への進出」などにも、取り組んでまいりたいと考えています。

当社としては、こうした取り組みへの参画を通じて、地域の皆さまと共に新たな価値を創り上げる「共創」の取り組みを進めてまいります。

【エネとくポイントプラン新規ご加入キャンペーン】

次に、8月から実施する「エネとくポイントプラン新規ご加入キャンペーン」について、ご説明いたします。資料3をご覧ください。

今回のキャンペーンでは、多くのお客さまにメリットのある「エネとくポイントプラン」の魅力を知っていただけるよう、8月2日から9月30日の期間で、「エネとくポイントプラン」にご加入いただいたお客さまの中から抽選で2,000名さまに、北海道内の人気ラーメン店やカレー店の味をお届けいたします。

「エネとくポイントプラン」は、多くのお客さまにご契約いただいている「従量電灯B」と比較して、ご使用量にかかわらず基本料金がお安く、また、電気料金に応じて当社ポイントが貯まるおトクなプランです。貯めたポイントは、他社ポイントへの移行や商品との交換等にご利用いただけます。

「従量電灯B」のお客さまであればどなたでも、電気のご使用量やご使用時間帯などの生活スタイルを変えることなく、必ずおトクになる、おススメの料金プランとなっております。

北海道は、冬にかけて、エネルギーの使用量が多くなる傾向があります。使用量が多くなる季節を前に、当社の「エネとくポイントプラン」をお選びいただき、料金プランのおトク感と美味しい北海道の名店グルメを、多くのお客さまにお届けしたいと考えております。

プラン変更は当社ホームページ上で簡単にお手続きできますので、ぜひ、この機会に、ご加入ください。

このほかにも、当社では、決して他社に引けを取らないおトクな料金プランや、ガスとのセット割引のほか、お客さまの暮らしのお役に立つ各種サービスなどを多数取り揃えております。引き続き、「ほくでんの電気やガス」をお選びいただけるよう、新たな商品・サービスの充実を図ってまいります。

最後になりますが、オリンピックが開幕し、日々、熱戦が繰り広げられております。

札幌でも、すでに、サッカー競技が開催され、今後は、競歩やマラソン競技も予定されておりますので、大会の運営に支障を来たすことのないよう、引き続き、緊張感をもって、しっかりと電力の安定供給に努めてまいります。

私からは以上です。